

## ○ サツマイモ掘り(2年生)

11月6日(水)は、2年生が6月にサツマイモの苗を植えたましたが、その収穫日でした。

苗植えの際にもお手伝いいただいた地域のボランティアの方々にも来ていただき、一緒にサツマイモ掘りを楽しみました。



地域の方が大きなシャベルで土を崩し、児童がサツマイモの根を手がかりに深く掘っていきました。2年連続で不作だったので、今年度はどれくらい収穫できるかと不安でしたが、見事に大豊作でした。みんなで黙々と掘り進め、最終的には大きなかご5つ分にもなりました。

収穫したサツマイモは、しばらく寝かせます。

地域のボランティアの皆様、どうもありがとうございました。

## ○ 防災に関する講話・図上訓練(4~6年生)

11月8日(金)は、地震・津波に関する防災講話と図上訓練を行いました。

防災講話は、4~6年生が対象でした。門川町役場総務課消防防災係の担当者にお越しいただき、門川町の防災についてのお話をいただきました。お話の中で、8月に起きた地震では、遮断機が下り、踏切が渡れなかった箇所があったことや、高齢者の避難が少なかったこと、信号無視をした車があったこと等の事例が取り上げられ、自分たちで積極的に声をかけたり考えたりすることが大切であると改めて感じました。さらに、ローリングストックや、普段から家具を固定しておくことなど、自宅でできる工夫についても考えることができました。今回の話を伺って、児童は、ますます防災についての知識を高めることができました。



防災図上訓練では、地区会長様、民生委員児童委員様、門川小学校PTA地域安全部員様にお越しいただき、教職員や児童の中に入られて、各地区の地図を見ながら話し合うことができました。地区ごとに、危険な場所や避難場所を確認した後に避難経路を選択したり、どのような行動をとりながら避難することが最適なのか意見を出し合ったりしました。

そして、この日の4~6年生は、集団下校をして、先ほど図上訓練で使用した地図を頭に思い浮かべ、避難場所の確認をしながら、地区会長様、民生委員児童委員様、門川小学校PTA地域安全部員様と一緒に下校しました。

ご来校いただいた関係者の皆様、児童の防災意識や知識の向上のために、本当にありがとうございました。

## ○ 乙島体験学習(4年生)

11月15日(金)は、4年生の乙島体験学習でした。

門川沖にある乙島。この乙島での活動を通して、ふるさと門川町のよさを再発見し、「門川町を改めて好きになってもらう」「門川町で育つことを誇りに思ってもらう」こ

とをねらいとし、本行事は行われました。

門川町教育委員会教育課や門川町役場地域振興課、門川町観光協会、ボランティアの方々、約30名の協力をいただき、実施できた活動でした。

児童は、シーカヤックやロープワーク、火起こし体験、トレッキング、清掃活動などを通して、「乙島」の自然を満喫しました。ワクワクドキドキのいっぱい詰まった活動で、児童の目はキラキラしていました。本当に楽しそうに活動していました。

これまで乙島に行ったことがない児童が9割くらいでしたが、きっと、乙島のことを大好きになったことでしょう。今度は家族で訪れる児童がいるかもしれないですね。

今回の児童の活動にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



## ○ わんぱく芸術家~一人ひとりが主人公~(6年生)

門川町の小学校6年生は代々、庵川の堤防の壁にペンキで絵を描いています。

11月21日(木)に行われた今年度の活動は、「これからの門川に残したいもの」がテーマでした。「乙島」や「カンムリウミスズメ」、「だんじり祭り」の絵を描くグループが多かったです。



### あいさつ 思い出のエピソード(昨年度からの続き)

ペンネーム JJ 40歳代

以前、自衛隊で勤務していた時の話です。とても優秀な上司から、ある日あいさつをされました。上司は病気で休暇をとり実家に帰る際、門番をしていた自分に、「お疲れさま、お前は頑張れよ。」と言われました。そして、次の日、亡くなったとの知らせがありました。自分は、その時のことが何十年たっても忘れられず、今の仕事を頑張ろうという気持ちになります。

あいさつは、その人の人生を変える1つの言葉かもしれないと思っています。今日あいさつを交わした人が、明日にはもうできなくなっているかもしれません。

これからの未来、後悔することのないように、1つ1つのあいさつを大事にしていけると良いですね。

## 12月の主な行事予定

- 1日(日) 日曜参観日、学校保健委員会
- 2日(月) 1日(日)の振替休業日
- 5日(木) 修学旅行1日目[6年]
- 6日(金) 修学旅行2日目[6年]
- 11日(水) 非行防止教室[6年]
- 12日(木) ノーメディア読書デー
- 16日(月) 下校時避難訓練
- 17日(火) 中学校新入生説明会[6年]
- 24日(火) 第2学期終業式

一緒に避難しませんか！  
裏面にチラシを印刷して  
います。

### **あいさつ 思い出のエピソード(昨年度からの続き)**

ペンネーム JJ 40歳代

以前、自衛隊で勤務していた時の話です。とても優秀な上司から、ある日あいさつをされました。上司は病気で休暇をとり実家に帰る際、門番をしていた自分に、「お疲れさま、お前は頑張れよ。」と言われました。そして、次の日、亡くなったとの知らせがありました。自分は、その時のことが何十年たっても忘れられず、今の仕事を頑張ろうという気持ちになります。

あいさつは、その人の人生を変える1つの言葉かもしれないと思っています。今日あいさつを交わした人が、明日にはもうできなくなっているかもしれません。

これからの未来、後悔することのないように、1つ1つのあいさつを大事にしていけると良いですね。

### **あいさつ 思い出のエピソード(昨年度からの続き)**

ペンネーム 野村様 60歳代

「あいさつの思い出」とありますが、民生委員として昨年の2月より子ども見守り(帰宅時間のみ)始めました。初めてなので、自分の立場として、どのようにやったらいいかなと考え、まずは声に出し、「こんにちは。さようなら。気を付けてね。」と言い、これだけで精一杯でした。

何か月かした頃か、低学年の女の子から、「ハイタッチ！いつもありがとう！」等の声をかけてもらい、高齢者の私は、すごく嬉しくて、「お返しハイタッチだよ。こちらこそありがとう。気を付けて帰ってね。」と言った事でした。

それから、私の家の近所の子どもですが、話したこともないし、育成会にも入会していない子どもでした。ある事から少しずつ話すことにより、今では校門を出た所から私が立っている所を見て、手を振ってくれるようになりました。時には一緒に帰ることもあります。これもあいさつを交わすことで生まれた光景なのでしょう。いつもの場所ですいつものようにあいさつをする。…何となく、つながりを感じました。また、明日からの見守り、頑張りたいと思います。